

第16回世界陸上競技選手権大会（2017／ロンドン）マラソン代表選手選考要項

1. 編成方針

本大会でのメダル獲得を含めた複数入賞を目指す選手団編成とする。

2. 選考競技会

(1) 男子

- 1) 第70回福岡国際マラソン選手権大会（2016年12月4日）
- 2) 東京マラソン2017（2017年2月26日）
- 3) 第72回びわ湖毎日マラソン大会（2017年3月5日）
- 4) 第66回別府大分毎日マラソン大会（2017年2月5日）

(2) 女子

- 1) 第2回さいたま国際マラソン（2016年11月13日）
- 2) 第36回大阪国際女子マラソン大会（2017年1月29日）
- 3) 名古屋ウィメンズマラソン2017（2017年3月12日）
- 4) 第30回記念北海道マラソン2016（2016年8月28日）

3. 選考基準

編成方針に基づき、国際陸上競技連盟（以下、IAAF）が定める参加標準記録を有効期間中に満たした競技者の中から日本代表選手を選考する。

内定条件と、選考条件を下記の通り定める。

(1) 内定条件

各選考競技会1)～3)で日本人1位の成績を収め、2016年1月1日から全ての選考競技会が終了するまでに、派遣設定記録を満たした競技者。

【派遣設定記録】

男子 2:07:00

女子 2:22:30

(2) 選考条件

各選考競技会1)～3)で日本人3位以内、又は4)で日本人1位の競技者の中で、各選考競技会での記録、順位、レース展開、タイム差、気象条件等を総合的に勘案し、本大会で活躍が期待されると評価された競技者。

4. 選考方法

(1) 選考基準(1)による選考は、即時内定とする。

(2) 選考基準(2)による選考は、選考基準(1)内定条件で、IAAFが定めるエントリー数の上限の枠を満たしていない場合、編成方針及び選考基準に則り、強化委員会にて選考原案を作成し、選考委員会で選考し、理事会において決定する。

5. その他

(1) 参加標準記録及び派遣設定記録の有効期間は、2016年1月1日から全ての選考競技会が終了するまで。

(2) 代表選手は、編成方針及び選考基準に則って選考されるが、その派遣人数はIAAFが定めるエントリー数の上限の枠を保证するものではない。

(3) 選考基準(2)からの選考は、選考競技会に複数回出場した場合は、定められた期日での調整能力を重視するため、初回の選考競技会の成績と競技内容を評価する。ただし、第30回記念北海道マラソン2016に出場した女子選手については、その他選考競技会3大会のいずれか1大会に出場した場合、その大会の成績も評価の対象とする。

(4) 本大会までに故障等により、競技力を発揮できない事態が生じた場合、代表を取消することがある。

(5) 代表選手の決定から本大会までの期間が長いことに配慮し、男女各1名の補欠を選考し、ファイナルエントリーまでに正選手に故障などが生じた場合は、補欠が正選手となり本大会に出場する。

(6) 天災、その他の理由で選考競技会が中止になった場合は、代替の選考競技会を設定する場合がある。

(7) 本大会は、2017年8月4日～8月13日までロンドン（イギリス）で開催される。

以上